

渋谷区耐震改修促進計画（素案）に関するパブリックコメント実施結果

1 実施期間

令和8年2月2日（月）から2月16日（月）まで

2 提出件数

意見総数7件

※複数のご意見をお寄せいただいたものがあるため、意見総数と提出者の合計人数は一致しません。

※個人や団体が特定できる内容は除くなどして意見の要旨としています。

※頂いた意見については、分類の都合上、同一意見として記載している場合や、切り分けて別の意見として記載している場合があります。

提出方法	人数
郵送	—
持参	—
ファックス	—
電子メール	2人
LINE	1人
合計	3人

3 提出された意見及び渋谷区の考え方

①耐震化施策について

番号	意見要旨	渋谷区の考え方
1	木造住宅の耐震改修について、診断をしたのに改修に至っていない事例が多いと分析されており、データをみても住宅の耐震化率はこの5年で伸びが停滞していると考えられる。	耐震診断を実施しても個々の事情により改修に至らない事例も多く、このことについては本計画で重要な課題として位置付け、取り組むべき施策の方向性を掲げています。
2	目標を達成するための手段として、既存の対策に加えてどのようなことに取り組むのかについて、具体策がもう少し見えるように記載いただくとより良いものになるかと思う。	本計画には耐震化の課題解決に向けて取り組むべき施策の方向性を掲げておりますが、これらについては令和8年度より更に具体化し順次実施してまいります。
3	土地活用ニーズが高い渋谷区の特徴を踏まえ、不動産事業者など民間事業者と連携した新たな耐震化促進策についても検討すべきである。	渋谷区の地域特性等を踏まえ、耐震改修に限らず、建替えや敷地の有効活用といった多様な耐震化の選択肢を提示できるよう、民間事業者等との連携も視野に入れ、検討を進めてまいります。

②業務体制・推進体制について

番号	意見要旨	渋谷区の考え方
1	計画の推進体制が区内でも一本化されていないで、縦割りバラバラであることはいまだに解決されていない。	関連行政計画と整合を図りながら、関係部署と情報を共有し、連携して、耐震化の取り組みを推進してまいります。
2	計画をただ作るだけでなく、ちゃんと実行されていくような仕組みや、ワンストップ窓口を設けるなど、体制の構築が望まれる。	区としても、計画は実行が重要であると考えており、今後は推進体制や進捗管理の整備、分かりやすい相談・案内体制（ワンストップ化を含む）の検討を進めてまいります。
3	ひと月の間に似た案件を別の部署がパブリックコメントの募集をしている、まさに縦割りバラバラ行政になっていることであると思う。	同時期に複数部署で類似する案件のパブリックコメントを実施しており、分かりにくい印象を与えてしまったことについては、真摯に受け止めております。 各案件は所管や目的が異なるため個別に実施しておりますが、今後は庁内での情報共有を強化し、区民の皆さまにとって分かりやすい情報提供に努めてまいります。

③その他要望について

番号	意見要旨	渋谷区の考え方
1	本計画よりも、障がい者手帳保有者のハチ公バス無料化の実現を優先してください。	関係部署へ本意見を申し伝えます。